

屋根から落ちる雪や氷による 危険防止などのお願い

毎年、冬になると、屋根に積もった雪、氷、つららが落ちて、歩行者がけがをしたり、また、死亡したりすることがしばしば起こっています。

皆さんも冬期間の生活には苦勞されていると思いますが、冬期間の通行を円滑にし、事故を無くするため、特に次のことに注意するようお願いいたします。

- * 屋根の雪、氷、つららが道路に落ちる建物には、これに伴う事故を避けるため雪止めをつけるようにしてください。
- * 雪止めが付けてあっても強さが足りなかったり、針金などがさびついたり古くなったりして切れて落ちることもあるので、必ず点検して、悪いところがあれば早めに修繕するようにしてください。
- * 屋根の雪、氷、つららは、気温が上昇したとき、特にマイナス3度位からプラス3度位になったときに落ちやすい状態となるためそのようなときは、早めに落とすようにし、落とすときは歩行者や遊んでいる子供などに十分注意するようにしてください。
- * ビルの壁、窓枠、突出看板等からの落氷雪は少量でも危険であるため、付着した雪や氷の除去を行うようにしてください。
また、落氷雪の除去の際には、歩行者への十分な安全対策を行うようにしてください。
- * 軒下を通行するときは、屋根からの落氷雪に十分注意するようにしてください。
- * 軒下や道路では子供を絶対に遊ばせないようにしてください。
- * 屋根から大量の雪が落ちたときは、直ちに事故がないかどうかを確かめるとともに、歩行者への通行への影響を避けるため、速やかに処理してください。
- * 交通事故・交通障害防止のため、屋根からの落氷雪や敷地内の積雪を道路に出さないようにしてください。

留萌開発建設部
留萌振興局
留萌警察署
小平町

暖房用石油類の安全な保管と取り扱い

灯油は、貯蔵のための保管方法や燃料タンクへの給油など取り扱い方法を誤ると大きな事故を引き起こす危険があります。

家庭における灯油の保管と取り扱いについて、特に次の点に注意してください。

■容器による灯油の保管について

- * 貯蔵のため保管する灯油は専用の容器に詰めて、火気を使用しない場所に保管しましょう。
- * 容器は、倒れやすい場所、腐食しやすい場所に保管しないようにしましょう。
- * 容器のふたは、常にきちんと閉めておきましょう。

■容器から暖房器具の燃料タンクへの給油について

- * 暖房器具の燃料タンクに給油するときは、必ず火が消えたことを確認してから行いましょう。
- * 暖房器具に燃料タンクをセットするときは、ふたが完全に閉まっていることを確認しましょう。
- * 油量計に示されている一定量以上は給油しないようにしましょう。
- * こぼれた場合の灯油は完全に拭き取りましょう。

■灯油ストーブの取扱いについて

- * ストーブの修理や分解掃除は、石油機器技術管理士など、専門的知識のある業者に依頼しましょう。
- * ストーブの付近には燃えやすいものを置かないようにしましょう。
- * 外出するときは、必ず火を消しましょう。

◎問い合わせ先

北海道総務部危機対策局危機対策課消防係
☎ 011-204-5009 (ダイヤルイン)